

庫

神戸支局 神戸市中央区栄町通4の3の5 電話078(371)3221
 〒650-0023 FAX078(371)7615
 kobe@mainichi.co.jp

姫路支局 姫路市三左衛門堀東の町102 電話079(282)1221
 〒670-0949 FAX079(288)2330
 himeji@mainichi.co.jp

阪神支局 尼崎市東灘波町5の16の29 電話06(6482)1221
 〒660-0892 FAX06(6482)5456
 hanshin@mainichi.co.jp

豊岡支局 豊岡市元町10の6 電話0796(22)6331
 〒668-0026 FAX0796(23)5188
 toyooka@mainichi.co.jp

【購読問い合わせ】0120-468012

星の占い
マーク・失崎
11日

★牡羊座(3) 良好。ただしコ
 ★牡牛座(4) が活発なとき。
 ★双子座(5) 遠ざけそう。肩
 ★蟹座(6) を呼ぶ時。他人

懐かしのLPレコード堪能

昔懐かしのLPレコー ドを聴きながらお茶を楽 しめる喫茶店「GG55」 市須磨区三ツ葉吉、うわ



Lプレコードをプレーヤーのターンテ ーブルに乗せる「GG55」マスター の宮崎啓さん—神戸市須磨区戎町1で

須磨の喫茶店人気

宮崎さんのコレクション 約4000枚の中か ら、常時500枚ほどを 用意。ジャズやクラシッ ク、演歌やロックなど、 あらゆるジャンルの音楽

を、1970年代製のピ ンテーシブプレーヤーでか ける。

飲み物はひき立てのコ ーヒーに、紅茶やチャイ。 名物のホットケーキなど 軽食も人気だ。「針がレ コード盤をこする時の 「ジジツ」というノイズ がたまらない」と宮崎さ ん。リクエストに応じて くれるのも魅力で、今日 もファンがまたひとり、 顔をのぞかせる。

神戸市須磨区戎町1。 営業時間は正午から午後 6時。日、月休み。07 8・742・6178。

【中野浩二】

メール

阪神淡路大震災から23 年となった1月17日。毎 年のことだが、中央区諏 訪山ピーナスプリッツで の追悼式に参加してい る。この日の朝は雨だっ た。それでも気温が暖か かったので手がかじかむ こともない。粉雪の舞う 日もあった。山から吹き 下ろす厳しい風で朗読の 息が詰まりそうになった



玉川侑香さん

た。まちが壊滅するとい う未曾有の震災から立ち 上がって来た日々、そこ で出会った人たちの温 しい生き様に励まされ、 その人たちをモデルにた

「おっちゃん」と「モーニング」

朗読すること、その人 たちの力に押されて今を 生きていくことを告げた いのだ。

今回は「もうにんべん」という詩を読んだ。これ は日雇い労働者「トキヤ ン」の話である。地震の た詩だが、この話を聞い

「おっちゃん」と「モーニング」

あとの火事で自宅に火が 迫ってくる。「いっちょ らいのモーニング」が燃 えてしまいうちになるの で、会社の仲間「よっさ ん」に預かってくれと頼

らんかったこんなおっ ちゃんたちの存在が、よ うに消されていく、そん な復興の在り方が悲しか った。

23年たった今、少しも 変わっていない現実を思 う。復興借上げ住宅か らの退去を言い渡された 人たちがいることであ る。神戸市は「20年の期 限」というがその時それ ほど厳密な契約があった のか。家を失い露頭に迷 う人々をこの住宅は救っ たはずである「期限」と いう紙切れ一枚がまた人 の運命を変える。被災を

展覧会

和彩書作展—日本 展—22日(木)〜25 日(日)、神戸市中央 区下山手通4の県民会 館1階特別展示室。 田さんは飛雲会同人 書家。昨秋、在ホー ンド日本大使館で開 た個展に出品した作 品に新作小品を追加 展示。



「無錫スケッチの旅」 展から竹中清さんの 作品

明石友好都市 無錫スケッチの 旅展 11日(日)〜19日(月)、 明石市相生 町2の市立 勤労福祉会 館ギャラリー。昨秋との交流の 無錫スケッチの交流の 様子など。 13日休館。